

広域防災拠点整備事業について

篠木 正明 議員

質問 広域防災拠点整備の目的と概要をお尋ねします。

答 大規模災害への対応や平時時における火災・救急対応の強化を図る目的で、防災拠点の整備を進めます。赤羽地区の国道354号沿いの約8・3haに、東側は医療施設区域として、慶友整形外科病院の進出が決定

しています。西側は防災施設区域として、消防本部の移転が決定しています。

質問 広域防災拠点として、どのような施設を整備するのですか。

答 災害対策室、自家給油施設、防災倉庫、ヘリポートなどの整備を検討していましたが、防災拠点への

消防庁舎の移転が決まったことから、消防組合と調整を図り、改めて検討することが必要となっております。

質問 地域防災計画では、ヘリポート適地として23か所が指定されており、防災倉庫は避難所となる小・中学校などに整備が進められています。市内にないのは、救援物資の集積施設ですが、どのような優先順位で整備を進めるのですか。

答 消防庁舎ができて補完できない機能として、

ヘリポート機能や備蓄倉庫機能、救援物資の集積機能があります。今後、消防組合等とも相談しながら検討したいと思っています。

質問 防災施設の平時時の活用についてはどのように考えていますか。

答 消防職員や消防団員の訓練の場としての活用や、住民の防災訓練や防災研修の場として活用できるものと期待しています。

質問 防災訓練や防災教育の拠点としての活用は当然

ですが、地域コミュニティの場としての活用も考えた整備もできると思います。例えば、救援物資の集積施設を、普段はスポーツやレクリエーションができるような施設として整備すると良いと思いますが、その見解をお尋ねします。

答 災害時より平時時のほうが多いので、平時時の活用について検討するとともに、救援物資の集積施設の多目的利用についても検討したいと思っています。

教育施設の耐震化について 福祉行政の運営について

吉野 高史 議員

質問 本市の社会教育施設における耐震診断の進捗は。

答 館林市耐震改修促進計画に基づき、平成25年度までに耐震診断を行いました。

質問 耐震基準に満たない施設名と今後の計画は。

答 田北東集会所は耐震性能が低く、今年度中に耐震改修工事を行う予定です。

郷谷公民館別館ホールは特殊構造のため耐震診断ができませんが、耐震性能は非常に低いとされ、今年度中に解体を予定しております。

赤羽公民館体育館は耐震性能が低く、解体する方向で考えております。

質問 施設解体等における利用者の移動に対する具体

的な対応策は。

答 田北東集会所は、利用の多い上半期を避け、下半期に耐震改修工事を予定しております。郷谷公民館別館ホールの利用者については、移転先がほぼ決まっています。

赤羽公民館体育館については、利用団体の活動の受け皿探しに全面的にバックアップしてまいります。

質問 今回の耐震診断結果や、以前にもあったアスベストの検査結果の隠蔽問題

などについてどう捉えているのか。前の教育長の時代のことであるため知りませんなどと言わずに、しっかりと答弁をお願いします。

答 今回、地域住民や利用団体に対して、危険性の周知が遅くなったことは事実です。今後は、市民の命・健康に直結するようなことについては速やかに公開し、適切な情報公開に努めます。

質問 超高齢社会に突入し、今後、要介護者が増大していく中、不足が想定される

介護士の確保及び処遇改善についての考えは。

答 介護士確保のために介護求人向けの面接相談会を開催したり、介護士の給与などの処遇改善について、国に対して積極的に働きかけを行ってまいります。

要望 市長も、あと数年後には後期高齢者となりますが、今後予想される介護施設の不足に対し、市民の方が安心して入所できるように介護施設の充実を図っていただけるよう要望します。